

射水市公園施設長寿命化計画について

1 概要

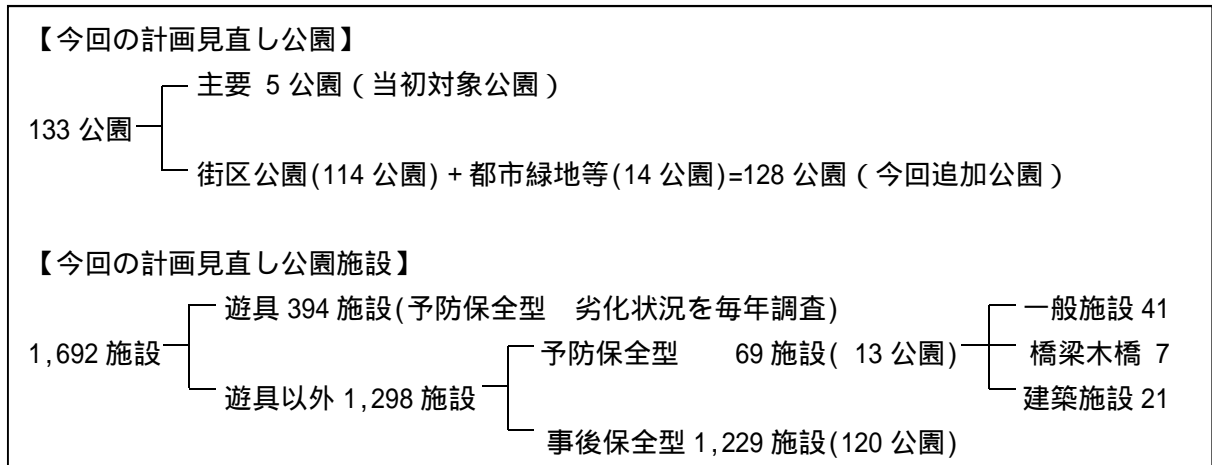
平成23年度に、本市で管理を行なっている都市公園のうち、利用者の多い主要6公園の公園施設について計画対象とし、老朽化に対する安全性の確保や機能の維持及び維持管理費の縮減と平準化を図ることを目的として、「射水市都市公園施設長寿命化計画」を策定した。

平成28年度は、規模が2.0ha以上で、地域防災計画にて避難地に指定されている主要な5公園に対して計画変更を行った。

今回、前記5公園以外の公園においても遊具や施設の老朽化が進んでいることから、128公園を加えた合計133公園の施設の調査を行い計画の見直しを行ったものである。

- 2 計画期間 平成29年度 ~ 令和8年度(10箇年) 上段：前回
令和3年度 ~ 令和12年度(10箇年) 下段：見直し

3 計画対象公園及び公園施設



4 計画対象公園施設

園路広場	修景施設	休養施設	遊具施設	運動施設	教養施設	便益施設
(32)	(7)	(172)	(115)	(78)	(2)	(35)
55	14	422	394	101	4	117
管理施設	その他	合計				
(364)	(61)	(866)	上段：(当初)			
573	12	1,692	下段：見直し			

5 健全度を把握するための点検調査結果の概要

令和2年に、133公園計1,692の公園施設について予備調査を実施し、うち予防保全型施設13公園の69施設に対して健全度調査を実施している。また、遊具に関しては394施設について劣化状況を毎年調査している。

【遊具及び予防保全型施設の健全度判定】

健全度判定	緊急度合	一般施設 ^(注1)	遊具等	橋梁木橋	建築施設 ^(注2)	計
A判定 全体的に健全		5	132	1	6	144
B判定 部分的に劣化進行		12	69	4	10	95
C判定 全体的に劣化進行	中・低	0	2	0	4	6
	高	19	182	0	1	202
D判定 全体的に劣化顕著		5	9	2	0	16
計		41	394	7	21	463

注1) 一般施設：休息所（パーゴラ）、照明等

注2) 建築施設：便所等

注3) ：本計画における対策対象施設（5年以内更新）

6 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位は、施設の健全度判定結果を基に下表のとおりとする。

健全度判定 A、B	10年以降 再検討（計画期間外）
健全度判定 C（緊急度：中・低）	5年以降 再検討
健全度判定 C（緊急度：高）\ D	5年以内に更新・補修・撤去

7 計画全体の長寿命化対策の実施効果

今回長寿命化計画を策定した公園における10年間のライフサイクルコスト縮減額は11,100千円である。（前回8,170千円）

* 参考図書：公園施設長寿命化計画策定指針(案)国土交通省都市局

9 今後の取り組みについて

本市では、この計画に基づき早急な補修が必要な、D判定16施設(11公園)に、C判定のうち緊急度が高い202施設(76公園)を加えた計218施設(延べ87公園)について、令和3年度から概ね5年を目標に更新・補修及び撤去を行う。

また、予防保全型の施設である遊具（毎年調査）及び一般施設・橋梁木橋・建築施設(5年周期調査)に合わせ、長寿命化計画を随時見直し、計画精度の向上を図る。